

..... 編集後記

◆今月号は新期花崗岩に関連する深部地熱資源の特集号である。“新期花崗岩”とは10～30万年前に冷却固化した(と言ってもまだ350℃くらいの温度を保っている)花崗岩であり、“深部”とは地下およそ2500 m以深を指している。このような深さに再生エネルギー資源としての地熱を求めて様々な調査研究や技術開発が進められている。その主要な舞台は岩手山の麓、岩手県雫石町葛根田である。

◆本特集号には地質、鉱物、地球物理、地球化学、掘削など多くの分野の専門家から地熱にちなむ“ホット”な原稿が所内所外を合わせて10数編寄せられた。長文のものあり、短編のものありで、そのうちの幾つかは、如何せん紙数の関係で1号分に収まり切らず、前倒しやら後送りやで他の号に回っていただいで体裁を整えざるを得なかった。前倒しはまたともかくも、後送りになってしまった原稿の著者

の方には大変申し訳なく思います。

◆もともと本特集号は、1993年9月開催の第225回地質調査所研究発表会の講演内容が基本となっていて、その企画運営から今月号の地質ニュースへの取りまとめまで地質調査所地殻熱部の玉生志郎さんのご尽力に負うところが大きい。同氏には編集段階でいろいろな無理難題を押しつけご迷惑をおかけした。ここにお詫びの気持ちと感謝の意を表します。

◆本特集号の編集に携わって一つだけ不本意なのは葛根田の新期花崗岩に名称がないことである。地層や岩体の命名には模式露頭(地表に露出して誰にでも観察できる実物)が必要なのもかもしれないが、地下に新しい花崗岩体が存在することはボーリングにより確かめられているのであるから、この際あるいは今後、通称でもよいから「葛根田花崗岩類」とでも呼ぶのがふさわしいと感じた次第です。

幹事 石井武政 記

原稿募集中

執筆にあたっては、1993年8月号(no. 468)68-69ページに掲載した「手引き」を参照してください。

地質ニュース編集委員会

委員長：小玉喜三郎

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井 登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

野田徹郎・吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(畠山浩之・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

1994年5月号

地 質 ニ ュ ー ス

第477号 1994年5月号
定価 ¥ 770 千 実 費

1994年5月1日 発行

編 集
発 行 人
発 行 所

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)
振替口座 東京 00110-6-32466
麹町局私書箱第21号

印 刷

小宮山印刷工業株式会社

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。